



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社ジェイエスエス
代表者名 代表取締役社長 藤木 孝夫
(コード番号:6074 東証スタンダード)
問い合わせ先 取締役管理本部長 濱治 雅弘
TEL 06-6449-6121 (代表)

特別損失の計上および2022年3月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）決算において、2021年6月11日に公表しました2022年3月期通期の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、採算性が悪化している直営事業所の固定資産の将来回収可能性を検討した結果、2022年3月期におきまして39,205千円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

2. 2022年3月期通期業績予想と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,700	百万円 279	百万円 287	百万円 201	円 銭 51.97
実績値（B）	7,550	289	285	112	29.08
増減額（B－A）	△150	10	△2	△89	－
増減率（％）	△1.9	3.6	△0.7	△44.3	－
（参考）前期実績	6,494	81	90	△440	△113.93

・2022年3月期通期業績予想と実績値との差異

当社におきまして2021年4月から各地域で順次発令された緊急事態宣言により一部事業所において臨時休業となったものの、6月21日以降は各種感染防止策を徹底しつつ全国で営業を継続いたしました。

また、12月の緊急事態宣言等の解除後は宿泊を伴うイベントを一部再開する等、感染状況に応じた施策を実施し、一定の安定した運営の結果、売上高については、概ね計画通りに推移しました。

利益面につきましては、原燃料価格の上昇による全国的な水道光熱費増加の影響があったものの、各業務のオペレーション見直しやWEB会議システムの活用による人件費、旅費交通費をはじめとするコストコントロールの徹底、本社部門の効率化による労務費削減など、経費圧縮を進めた結果、営業利益および経常利益につきましては、概ね計画通りに推移しましたが、当期純利益につきましては、上述の通り特別損失を計上したことにより、予想を下回ることとなりました。

以上